



報道発表資料の配付日時 1月13日(木) 10時00分

発表項目 (行事名)	「北海道薬用作物セミナー」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>国内外の漢方薬の需要が高まる中、その原料となる薬用作物は、実需者から大規模生産が可能な本道での供給拡大が期待されるとともに、生産者から高収益作物として関心が高まっています。</p> <p>このため、<u>道内において、さらなる薬用作物の生産振興を図るため、栽培技術や実需の動向、産地の取組事例の理解を深める「北海道薬用作物セミナー」を開催することとしましたのでお知らせします。</u></p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時 2月4日(金) 13時30分～15時30分</p> <p>2 場 所 北海道第2水産ビル8A会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目1) ※現地開催とWeb会議システム(Zoomミーティング)を併用して開催</p> <p>3 内 容 (1) 薬用作物の生産概況(講師:農林水産省農産局果樹・茶グループ) (2) 薬用作物の栽培技術(講師:医薬健栄研薬用植物資源研究センター) (3) 実需の動向(講師:(株)夕張ツムラ) (4) 産地取組事例 ① 蘭越町の薬用作物栽培(産学官連携)の取組(講師:蘭越町役場) ② 道北におけるハトムギ生産の取組(講師:生産者、国産生薬(株))</p> <p>4 その他 別添の「北海道薬用作物セミナー開催要領」をご参照ください。</p>		
参 考			
報道(取材)に当たってのお願い	<p><u>本セミナーの開催に関して、幅広く周知を図るため、積極的な報道に御協力をお願いします。</u></p> <p>なお、取材当日は、マスクの着用等ご協力いただくとともに、発熱や風邪症状等がある場合は、取材を控えていただくよう、お願いします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付	同時レク	
担 当 (連絡先)	農政部生産振興局農産振興課 (担当者:豊口、片山) TEL(ダイヤルイン) 011-204-5434 (内線) 27-709、27-720		

北海道薬用作物セミナー

日時

2022年2月4日(金)13:30~15:30

会場

北海道第2水産ビル8階8A会議室

(札幌市中央区北3条西7丁目1)

※希望者にはWebでも参加可能です

薬用作物の開始・拡大を検討している生産者、関係者の皆様のご来場お待ちしております！

事前予約制、会場定員：100名

出席報告において、現地・Webの参加を選択してください

【講演内容】

①薬用作物の生産概況

講師：農林水産省農産局果樹・茶グループ

②薬用作物の栽培技術

講師：医薬基盤・健康・栄養研究所

③実需の動向

講師：株式会社夕張ツムラ

④産地取組事例

- ・蘭越町の薬用作物栽培（産学官連携）の取組

講師：蘭越町

- ・道北におけるハトムギ生産の取組

講師：士別市在住のハトムギ生産者

国産生薬株式会社



参加のお申込

出席報告様式により、2022年1月26日(水)までに下記のいずれかでお申込願います。

【あて先】北海道農政部生産振興局農産振興課てん菜馬鈴しょ係

<メール> nosei.nosan1@pref.hokkaido.lg.jp

<郵送> 〒060-8588北海道札幌市中央区北3条西6丁目

<FAX> 011-232-4132



【お問い合わせ】

北海道農政部生産振興局

農産振興課てん菜馬鈴しょ係

担当：片山、久保田（電話：011-204-5434）



(別紙)

北海道薬用作物セミナー 出席報告様式

報告期日: 令和4年1月26日(水)

報告者名: _____

市町村名	ご所属 (会社などの場合)	職名 (代表など)	氏名	メールアドレス	参加方法 (現地・Webのどちらかに ○)
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web
					現地 Web

※1 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、Web(Zoomミーティング)併用で開催しますので、参加方法の現地・Webのどちらかに必ず○を記載願います。(Webでの参加希望者には、令和4年1月28日(金)までにIDやパスワード等をお知らせします。)

※2 なお、感染状況によっては、Web開催のみとする場合や中止・延期となる場合は、令和4年2月2日(水)までにご登録のメールアドレスに連絡しますので、お手数ですが必ずメールアドレスを記入されるよう御協力願います。

北海道薬用作物セミナー 開催要領

1 趣 旨

国内外の漢方薬の需要が高まる中、その原料となる薬用作物は、実需者から大規模生産が可能な本道での供給拡大が期待されるとともに、生産者から高収益作物として関心が高まっており、その生産拡大は地域経済の活性化にも寄与するものである。

一方、本道における薬用作物の作付面積は、全国第3位ではあるものの、機械化が進んでいないことなどが課題となっており、近年は約300haと横ばいで推移している。

このため、今後、道内において、さらなる薬用作物の生産振興を図るため、栽培技術や実需の動向、産地の取組事例の理解を深める「北海道薬用作物セミナー」を開催する。

2 主 催 北海道

3 日 時 令和4年(2022年)2月4日(金) 13:30~15:30

4 場 所 北海道第2水産ビル8A会議室(札幌市中央区北3条西7丁目1)

5 開催方法 現地開催(定員:会場100名)とWeb会議システム(Zoomミーティング)を併用して開催

6 参 集 生産者、民間企業(製薬メーカー等)、市町村、農協、試験研究機関、大学、関係機関ほか

7 内 容

(1) 薬用作物の生産概況

(講師:農林水産省農産局果樹・茶グループ)

(2) 薬用作物の栽培技術

(講師:国立研究開発法人医薬健康研薬用植物資源研究センター)

(3) 実需の動向

(講師:株式会社夕張ツムラ)

(4) 産地取組事例

① 蘭越町の薬用作物栽培(産学官連携)の取組

(講師:蘭越町役場)

② 道北におけるハトムギ生産の取組

(講師:士別市在住の生産者、国産生薬株式会社)

8 出席報告

出席報告様式により令和4年(2022年)1月26日(水)までに報告をお願いします。

※ メール、FAX、郵送いずれも可ですが、定員に達した場合は受付を終了させていただきますので、御了承願います。

〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目

北海道農政部生産振興局農産振興課てん菜馬鈴しょ係 (担当:片山)

電 話:011-231-4111 (内線:27-720) FAX:011-232-4132

E-mail:nosei.nosan1@pref.hokkaido.lg.jp

9 その他

- ・ セミナーの開催に当たっては、マスクの着用、手指消毒の徹底、定期的な換気の実施、ソーシャルディスタンスの確保など、十分な感染防止対策を講じて実施します。
- ・ 参加者の皆様には、来場前の検温にご協力いただき、発熱や風邪症状等がある場合は、当日の来場を控えていただくよう、お願いします。
- ・ Webでの参加希望者には、別途ID・パスワード等を令和4年(2022年)1月28日(金)までにお知らせする予定です。